

横浜国立大学国際社会科学研究院・張研究室  
神戸大学農学研究科・八木研究室 共催

## 『大豆の政治経済学』 合評会

日時: 2024年10月22日(火)  
10時~12時 (日本時間)

開催形式: オンライン(Zoom)

**著書内容:** 本書は東アジアの主要国における国家、企業、農家といったアクターの行動を分析することで、世界の大豆需給と貿易構造の変化を明らかにする。そして、大豆の輸入地域である東アジアの需給情勢と輸出国であるブラジルの生産情勢を合わせて考察することで、新興国を軸とする大豆経済のダイナミズムを描き出す。

### プログラム:

10:00 - 10:15 趣旨説明

張馨元(横浜国立大学)

10:15 - 11:00 書評

磯田 宏 (九州大学) .....フードレジームの視点から

清水純一(ノートルダム清心女子大学)

.....ブラジル農業の視点から

寶劍 久俊 (関西学院大学).....中国農業の視点から

11:00 - 12:00 総合討論

参加方法: 2024年10月20日(日)までに下記のリンクまたは  
右のQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/jNtoGoSFthxVgzz99>



書籍情報: 張馨元・八木浩平・林瑞穂編著(2024)『大豆の政治経済学——フードレジームの視点から』筑波書房。

NCID: [BD06382244](https://nncid.org/BD06382244)

序章 フードレジームでみる大豆経済 (張馨元)

第1章 世界の大豆需給と国際市場 (古橋元)

第2章 日本における大豆加工業の実態と将来像(八木浩平)

第3章 韓国の大豆産業 —輸入大豆からの接近(樋口倫生)

第4章 台湾における大豆需給体制の形成と変遷 1964~2021年 (曾献緯[河野正訳])

第5章 中所得段階における中国の大豆需給(張馨元)

第6章 ブラジルにおける大豆生産の現状と大豆生産者の営農意識(林瑞穂・丸山優樹)

あとがき